

関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA)
第 88 回例会 実施報告 『スペイン語新文法 (基礎編)』
担当者：小川 雅美
於 関西学院梅田キャンパスハブスクエア
2015 年 5 月 9 日

今回は、『新文法』講読の第 2 回として、同書の第 2 節（「(文法上の) 性」）について扱った。この節では、指示対象が自然の性を持つような名詞と、そうでない名詞とに大きく分類してそれぞれの特徴が述べられている。今回のワークショップでは、30 分程度の時間内で、主に前者について詳述し、また簡単に出席者とやりとりを行った。

5 月前半は、ちょうど、初学者らが名詞の性について習う時期であり、担当者のクラスにおいても、多くの学生が文法上の性についてとまどいを見せていた。よって、この時期にこのテーマを扱うのはタイミングがよかったと思う。他の出席者も同様の見解との印象を受けた。担当者のクラスでは、戸惑う学生が多かったものの、「男性名詞・女性名詞という言葉が出てくると第 2 外国語を勉強しているという気がする」と、新しい勉強に入る実感をポジティブに捉える学生もおり、この側面をワークショップで共有できたと思う。

担当者としては、文法上の性の本質は、あくまで修飾語や補語となる形容詞との性の一致にあるという見解に同意する。（「太陽は男性のイメージなので男性名詞である」、という言説は、話としてはおもしろいが、そういうイメージで性の区別ができるような無生物の名詞はほとんどない。また、語尾で男女の判別が用意になるとはいえ、語尾の形態が性の本質であることも本書は否定している。文法上の性は関係として扱うことが大切で、修飾語と共に学生に提示することで、それが可能になると考える。）

担当者が出席者とのやりとりで特に興味を持ったのは次の 2 点である。ひとつは、出席していたネイティブ 2 名に「文法上の性が存在することを、ネイティブとしてはどう思うか」と質問したところ、ひとりには、「文の意味が明確になるので有益である」と答え、もうひとりには「社会言語学的に見て好ましくない」と答えた。つまり、字義的意味の明確化においては有益であるが、ジェンダーに関わる副次的な影響が避けられない、という側面が示されたと言える。もうひとつ興味深かった点は、同書に挿入されている注意事項として「男性複数形は男女両方を含むので、わざわざ男性形と女性形で同じ語彙の意味の名詞を記載することは不要である」としていたことである。ここが、まさにジェンダーに関わる社会言語学の問題である、という話になった。

担当者は、これまで、名詞の性に別段強い関心を持っていたわけではないが、今回たまたま本節を担当し、これまでぼんやりしていた視点をより明確にすることができた。初学者にとっては、無生物に文法上の性が存在することに大きなインパクトがあるが、無生物の性は文法の問題であるのに対し、実際の言語使用においては、人間の実際の性別と表現形式の文法上の性との関係の方が、むしろ意味上深い問題をはらむものと言うことができる。それは、人間を表現する場合には、かならず指示対象（つまり実物の人）をどう捉えるかという認識上の問題であり、また同時に、その認識に絡む、社会的および政治的（『新文法 (基礎編)』は規範的性格を持つ）側面への広がりを持つ問題である。

最後に、時間不足で話し合いには載せられなかったが、職業を表す名詞について、スペイン語では女性形の名詞が新たに作られ、ジェンダーをプラスする方向に近年変化してきたが、日本語では、逆に「看護婦→看護師」「スチュワーデス→客室乗務員」のように、ジェンダーを消すような方向で変化している。いずれも男女同権についての議論が背景にあるが、変化が真逆になっていることが興味深い。

当日配布した資料を、この報告書の 2 ページ以下に掲載する。

『スペイン語新文法（基礎編）』

“2. El género” (pp.16-23)

関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA) 第 88 回例会

於 関西学院梅田キャンパスハブスクエア

2015 年 5 月 9 日

小川 雅美

II. Las palabras (語)

IIa. Morfología (形態論)

2. El género (「(文法上の) 性」)

Definición de género (「性」の定義)

➤ El género es una propiedad gramatical, de carácter inherente, de los sustantivos y ciertos pronombres que se manifiesta de forma especial en su combinación con determinantes, cuantificadores, adjetivos y participios. (p.16)

性とは文法上の特性である。性とは、[語に]固有で、名詞およびいくつかの代名詞が限定詞、数量詞、形容詞、過去分詞との組み合わせにおいて特別な仕方(?) 明らかになる。

→1) 性とは名詞およびいくつかの代名詞に内在する文法的特性である。

☆名詞の語彙が持つ意味上の特性は、最も本質的なことではない。

☆名詞の形態が持つ特徴は、最も本質的なことではない。

→2) 限定詞、数量詞、形容詞、過去分詞との組み合わせで明らかになる。

☆これらの語が名詞と組む時に、名詞に内在する「性」の本質が、これらの語の形に現れるということのはず。

→→性について述べる時には一致の関係が成立する他の語と関連づけるべし

➤ Según su género, los nombres son **MASCULINOS** o **FEMENINOS**. (p.16)

名詞はその「性」に従って、**男性**もしくは**女性**である。

➤ 若干の**中性**(代名詞のみ) が存在する: *lo, algo, esto* など。[他に *nada* と、*todo, mucho* など. Manual:357]

(小川疑問) そもそも、なぜ名詞には「性」があるのか?なぜ、形態統語上の2種類(ないし3種類)の特徴を「性」と呼ぶようになったのか?無生物の物事はどのようにして今あるような「性」を持つに至ったのか?

Género, concordancia, flexión y sexo (「性」、一致、屈折、自然の性)

➤ La propiedad esencial del género es marcar la **CONCORDANCIA** entre el nombre y otras clases de palabras con las que se combina[...]. (p.16)

「性」の本質的な特性は、名詞とそれと組み合わせられる他の種類の語の間にある**一致**を表すことである。

➤ [...] todos los sustantivos son masculinos o femeninos, pero pocos reflejan esta oposición en sus terminaciones.

➤ [名詞の「性」は形式上区別があるとは限らない。] 全ての名詞は男性または女性であるが、語尾にこの対立が反映されていることは少ない。

➤ 「性」(文法上の特徴)は自然の性(生物学上の特徴)と関係のある概念だが同一ではない。全ての名詞は自然の性の有無に関わらず「性」を持つ。

El género en sustantivos que designan seres sexuados (自然の性を持つものを示す名詞における「性」)

Expresión de género y sexo. Clases de sustantivos (「性」と自然の性の表現。名詞の種類)

	名詞の種類 (「性」と自然の性の関係)	定義・特徴	語例 (一部省略)
1	Los sustantivos heterónimos (異源同類語の名詞)	文法上の「性」の違いと自然の性の違いとを、共に語根(raíz)の違いによって表す。	padre / madre, hombre / mujer caballo / yegua, toro / vaca
2	Los sustantivos de terminación variable (語尾が可変的な名詞)	文法上の「性」の違いと自然の性の違いを、同じ語根の語における形態素で表す。	女性屈折語尾 -a (多い): niño / niña, muchacho / muchacha gato / gata -esa: alcalde / alcaldesa, duque / duquesa príncipe / princesa -isa: profeta / profetisa -triz: actor / actriz, emperador / emperatriz -ina: héroe / heroína
3	Los sustantivos comunes en cuanto al género (「性」が共通の名詞=男女同形)	文法上の「性」の違いはあるが語形が同じ。 「性」と自然の性は形容詞、限定詞で明らかになる。	este testigo / esta testigo estudiante aplicado / estudiante aplicada ・代名詞: Yo soy {alto / alta}. [usted misma, ¿Quién es la más bella?, alguien tan lista como su abuela, nadie (Manual p.27)] ・「性」が共通の名詞[男女同形]: a) -a ギリシャ語源多い; 人の職業・活動・属性 astronauta, burócrata, guardia artista, dentista, pianista ←多い (否定的ニュアンスを伴う民衆語: hortera) ★autodidacta (autodidacto も可能) b) -e conserje, detective, intérprete cantante, estudiante, cliente ←多い (ラテン語の現在分詞が起源) ★jefe (jefa も可能だが頻度少) presidente (女性は presidenta が普通) c) -i (強勢・無強勢), -y, -o marroquí; yóquey; testigo d) -r, -d, -t (無強勢) mártir; papanatas (お人よし); pivot (ポストブレイヤー) -ar, -er (強勢) auxiliar, mercader (まれ), -l (形容詞起源) comensal, corresponsal, profesional (-la を取るものもある: colegiala, española) [以下、なぜここに書かれているのかわかりません。男女同形のものもあるということ?] -or director/directora, doctor/doctora

			<p>-n anfitrión/anfitriona, patrón/patrona)</p> <p>-s francés/francesa [ここまでよくわからない]</p> <p>-z (男女同形が多い) portavoz, aprendiz (女性形を持つものもある andaluza ; たまに aprendiz)</p> <p>・ Cambio de clases (種類の変化) [←?] (昔) 男の人しか指さず、女性形はその夫人を指していた→(現代) 男女の人を指す(形は男女同形もしくは語尾変化) la gobernadora (県知事夫人→女性の県知事)</p> <p>a) -o (役職、肩書き、職業) 多くは女性形(-a)あり: abogada, catedrática (科学・芸術の名前と一致) física, música 多くの国で今も男女同形: el/la médico, el/la músico</p> <p>★-o 以外の語も女性形が用いられつつあるが国によって異なる(consejala, fiscal)</p> <p>b) 軍隊における階級 男女同形: el/ la capitán, el/la soldado 女性形もある(アメリカ諸国): la capitana</p>
4	Los sustantivos epicenos (通性名詞)	自然の性が異なっても文法上の「性」が1つしかなく、[修飾語が]文法上の「性」に一致する。	<p>・動物(多い) [もっとよく使うのがあるはず] el avestruz, la cobra</p> <p>・植物[雌雄異体のもの] el plátano</p> <p>・人 la autoridad (役人、権威の人), el emisor (送信人), la persona</p> <p>・自然の性を明示したい時 動物・植物 +macho / hembra el hipopótamo macho / el hipopótamo hembra 人 +masculino/femenino, +varón/mujer los personajes femeninos las víctimas masculinas (修飾語等は文法上の「性」に一致)</p> <p>・通性と男女同形のいずれにもなりうる名詞 miembro, rehén, pariente, familiar Ella es <u>el miembro</u> más notable del equipo. Ella es <u>la miembro</u> más notable del equipo. ★miembra は正しくない</p> <p>・bebé に注意! (米) 男女同形: Es una bebé preciosa. 国によっては女性形あり: beba (西) 通性: Esta niña es un bebé precioso.</p>

Empleo genérico del masculino (男性形の総称的使用)

男性形：無標 → 無標のものが有標のものを含む(例：día(日)は día(昼間)と noche(夜)を含む)

女性形：有標



生物について、男性形が総称に用いられる (全ての種、両方の自然の性を指す)

Un estudiante tiene que esforzarse mucho.

Los hombres prehistóricos se vestían con pieles de animales.

padres (padre y madre), reyes (rey y reina)

曖昧性回避の方法 :

1) 言語外の要因、文脈からの解釈

自然の性が男性しかありえない内容

Pocos jóvenes son ordenados sacerdotes actualmente.

2) 言語的に明示

分割 : Los españoles y las españolas pueden servir en el Ejército.

他の要素の付加 : empleados de ambos sexos; empleados, tanto hombres como mujeres

呼びかけの時には、従来丁寧さ (ポライトネス) のしるしと解釈されてきた

señoras y señores, amigas y amigos

★現代の政治・行政の言葉遣いにおける両方の「性」の並列は不要。無標の男性形は両方の自然の性の人を包含するから。

los alumnos y las alumnas

un derecho de todos los ciudadanos y de todas las ciudadanas

(小川疑問) それも解釈の問題であり、人権を保証するために一義的な言い方を敢えてしてるのでは?

よく見かける *profesor/a* のような書き方は、句になるとどうなるのか? どう発音するか?

(以下は概略のみ)

El género en sustantivos que designan seres no sexuados (自然の性を持たないものを示す名詞における「性」)

無生物を指す名詞の「性」は屈折語尾にも自然の性にも関連づけられない。本質的に、限定詞、数量詞、形容詞、過去分詞との一致において明らかになる。

Género y terminación (「性」と語尾)

確実な原則はないが傾向はある。

一般的なルールとして、語尾が-o → 男性名詞、語尾が-a → 女性名詞

例外 : -a → 男性名詞 a) ギリシャ語源の -ma : clima esquema, b) 色彩名称: (el) grana, (el) naranja

-o → 女性名詞 女性名詞の短縮 moto(cicleta), その他の場合 mano (このような例は少ない?)

子音もしくは -o, -a 以外の母音で終わる語 : どちらの「性」もありうるが語尾の形が「性」に関係あるものもある

(p.22 の表参照) 男性 : -aje, -án, -én, -ín, -ón, -ún, -ar, -er, -or, -ate, -ete, -ote, -és, -miento (-mento は?)

女性 : -ción, -sión, -zón, -dad, -ed, -ez, -eza, -ia, -ie (無強勢), -ncia, -tud

Género y significado (「性」と意味)

• Género y significado en los nombres propios (固有名詞の「性」と意味)

• 固有名詞の上位語の性を取るもの un Mercedes (coche), las Canarias (islas)

• 地名 : -a …女性, -á…男性 (都市名は女性が多い); 他の語末…男性が多いが両方可のものも (Madrid)

• 略称 : 核となる名詞 (たいてい句頭の語) に一致 la FIFA (←federación), la ONU (←organización)

Variación de género y significado en nombres que designan seres no sexuados (自然の性を持たないものを示す名詞における「性」)

• Variación de género (性の変異) 植物と実、大きさの違い、形状の違い : manzano/manzana

• Homonimia, polisemia y diferencias de género (同音異義、多義性、「性」の違い) el/la capital

• Sustantivos ambiguos en cuanto al género (「性」の曖昧な名詞) …el/la mar